

第2回シャーシシェアリング実証実験における 効果分析内容・方法の検討

関東地方整備局 港湾空港部

令和4年10月11日

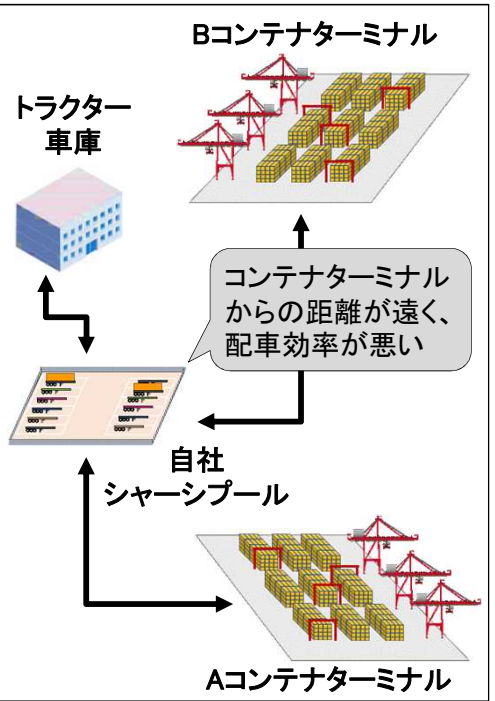
① 複数シャーシプール設置による走行距離等削減および配車効率の効果検証イメージ

- 第2回シャーシシェアリング実証実験(以下、今回実験という)では、シャーシプール設置箇所を1箇所(南本牧)から2箇所(南本牧、本牧)に増設して実施予定。
- シャーシプールを増設することにより、業務に応じて利便性の高いシャーシプールを選択することが可能になることから、走行距離・時間短縮や配車効率向上の効果が期待できる。

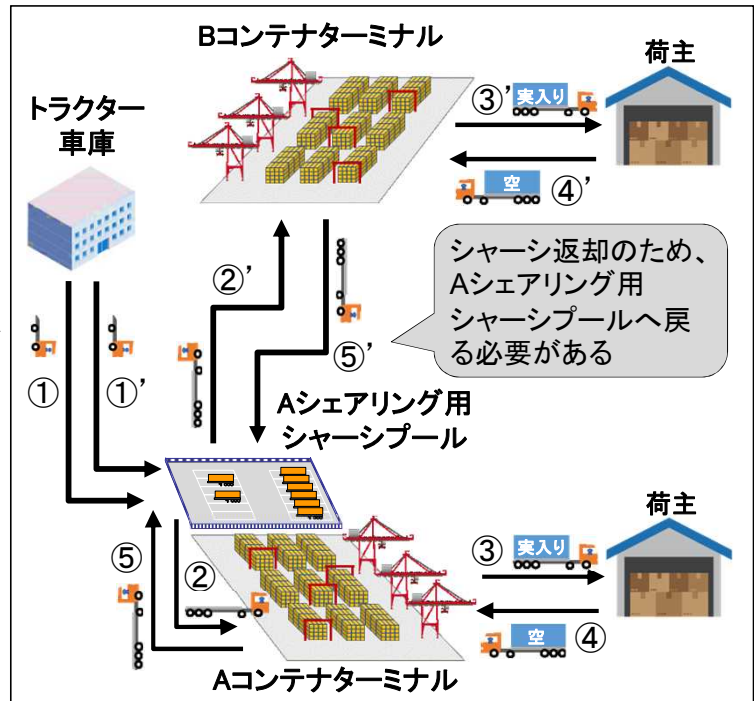
項目	検証方法
複数シャーシプール設置による走行距離等削減効果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今回実験において、最初と最後の業務が南本牧または本牧のコンテナターミナルとなっている車両を対象に、位置情報データより走行距離・時間を算出。 ○ 利用陸運事業者が通常利用している車庫を発着地とし、その走行距離・時間を試算。 ○ 上記を比較することにより、走行距離・時間の削減効果を算出。
シェアリングの利便性向上による稼働率向上効果の検証	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運転日報情報(業務内容、発着地等)より、シャーシの稼働率を分析。 ○ 配車係へのアンケート(日報記載)により、効率化事例を把握。

複数シャーシプール利用による走行距離等削減イメージ (業務開始時にシャーシを借用する場合)

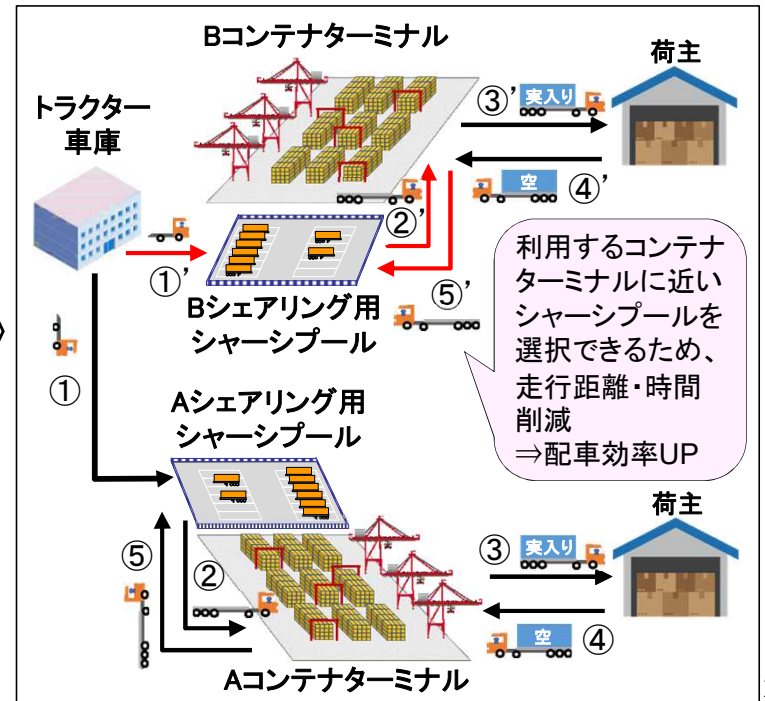
【Before】現状



【After①】シェアリング用シャーシプール1箇所(前回実験)



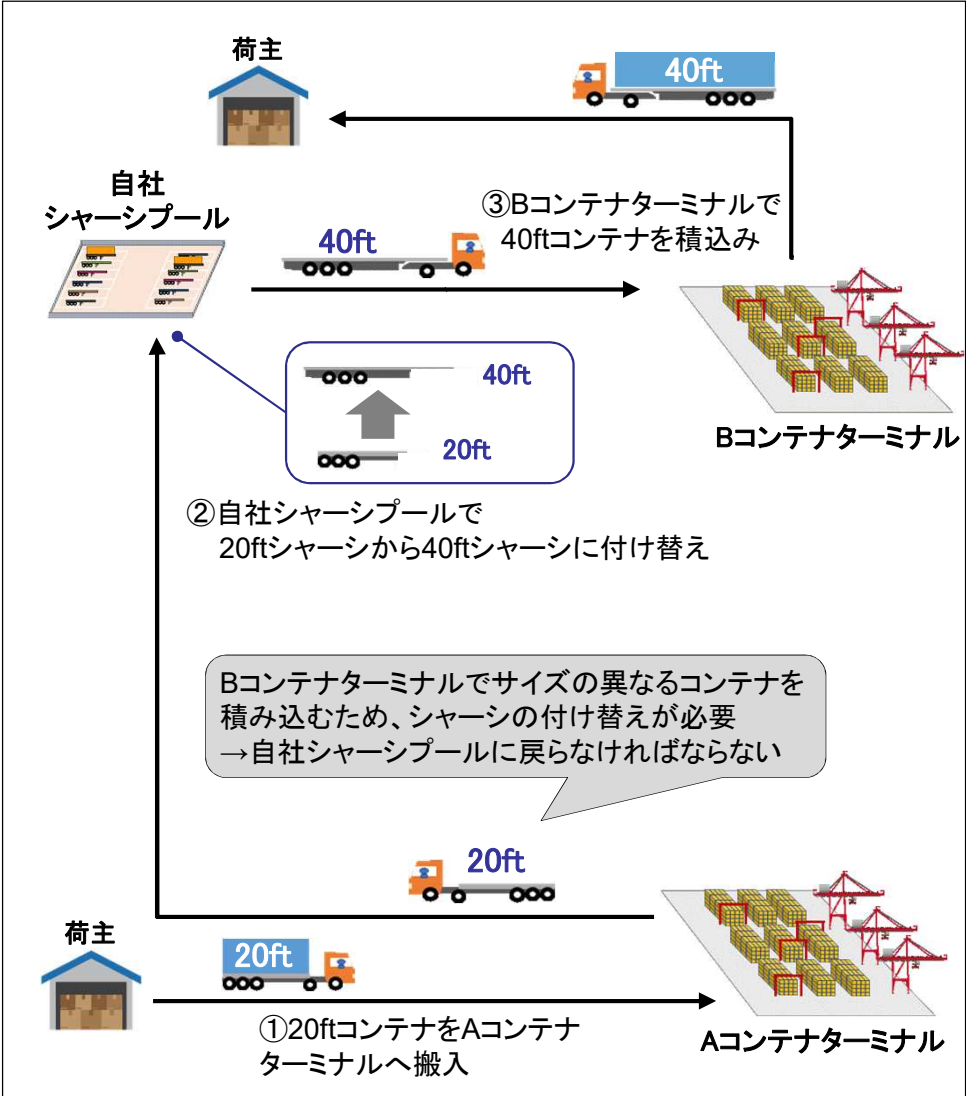
【After②】シェアリング用シャーシプール複数箇所(今回実験)



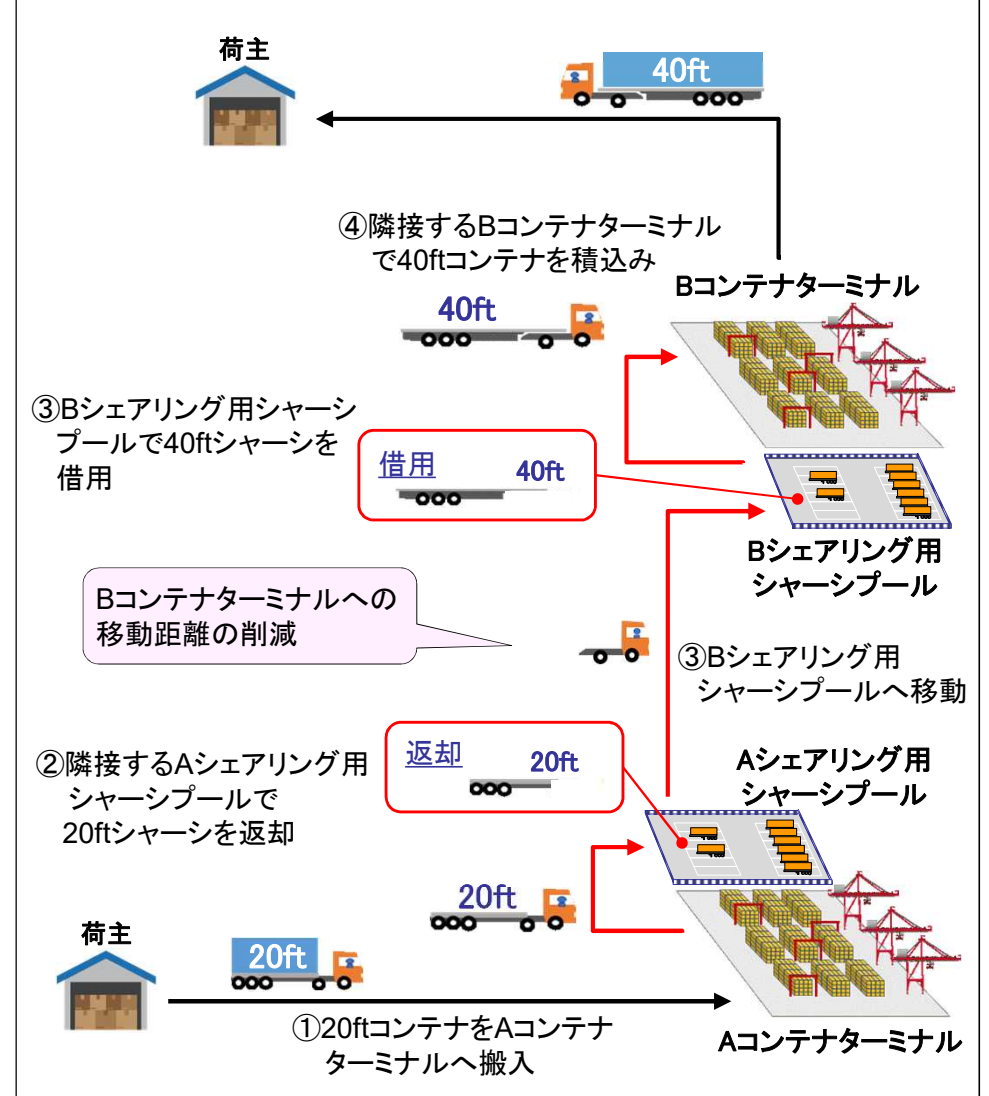
① 複数シャーシプール設置による走行距離等削減および配車効率の効果検証イメージ

複数シャーシプール利用による走行距離等削減イメージ（業務途中でシャーシを付け替える場合）

【Before】現状



【After】シェアリング用シャーシプール複数箇所（今回実験）



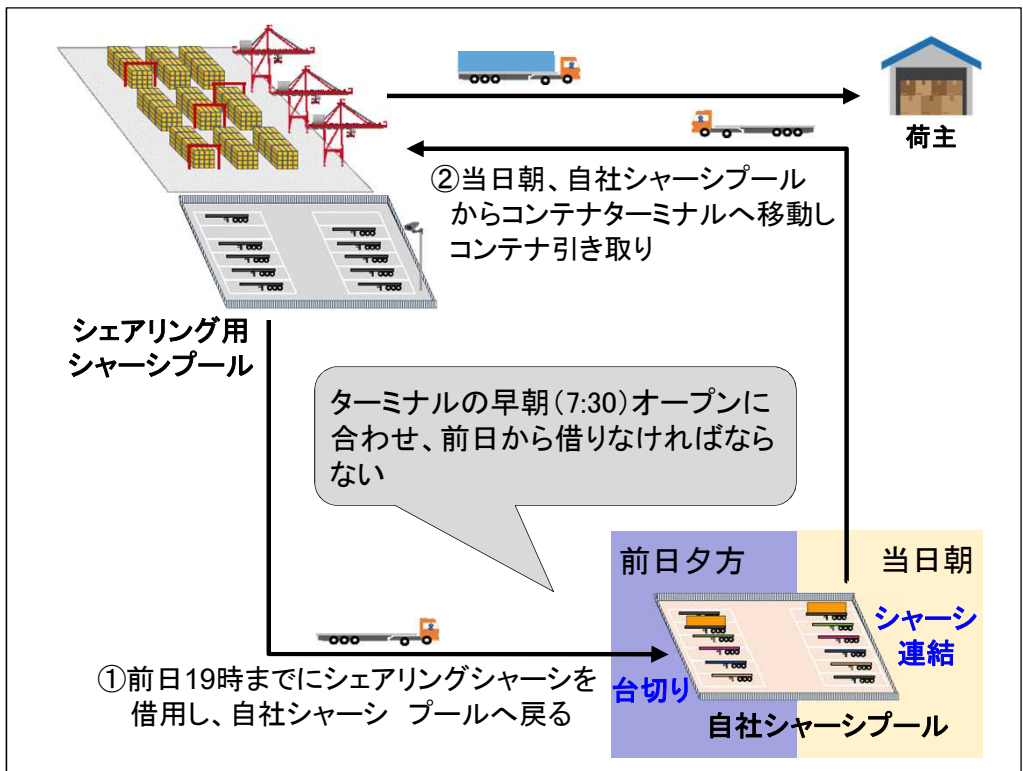
② シャーシプールの利用方法変更による配車効率の効果検証イメージ

- ・ 今回実験では、シャーシプールの利用時間を24時間(前は8時～19時)に拡大、およびオンシャーシ(空コン)駐車可能とし実施予定。
- ・ 翌日早朝配達やコンテナターミナルクローズ時間帯の帰車など、業務に応じたシャーシプールの利用が可能になることから、配車効率向上の効果が期待できる。

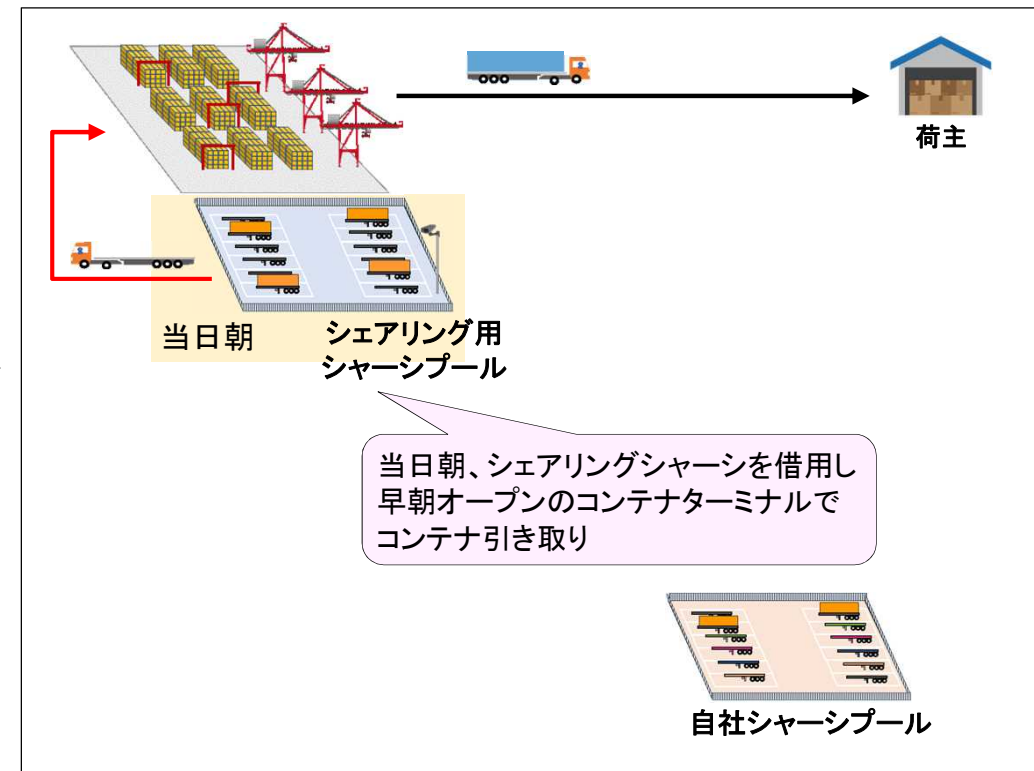
項目	検証方法
シャーシの稼働内容の分析	○ 運転日報情報から取得されるシャーシの利用ステータス(コンテナ積載の有無、走行(配送)・待機の別など)より、シャーシの稼働内容を分析。 ○ 夜間や早朝の利用、オンシャーシでのシャーシプールでの待機などによるシャーシの稼働率の向上効果を検証。

利用時間拡大による配車効率向上イメージ (早朝におけるコンテナ引き取りの場合)

【Before】貸出時間8時～19時 (前回実験)



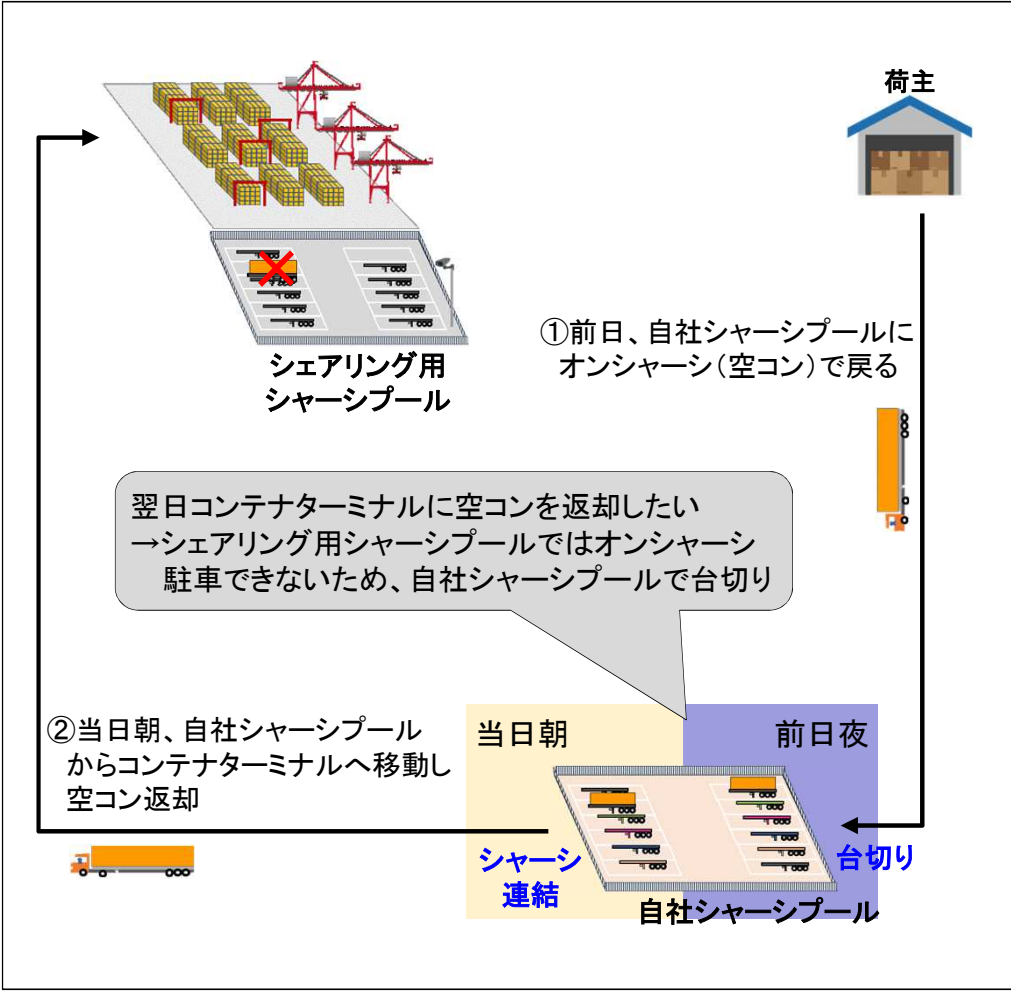
【After】24時間貸出 (今回実験)



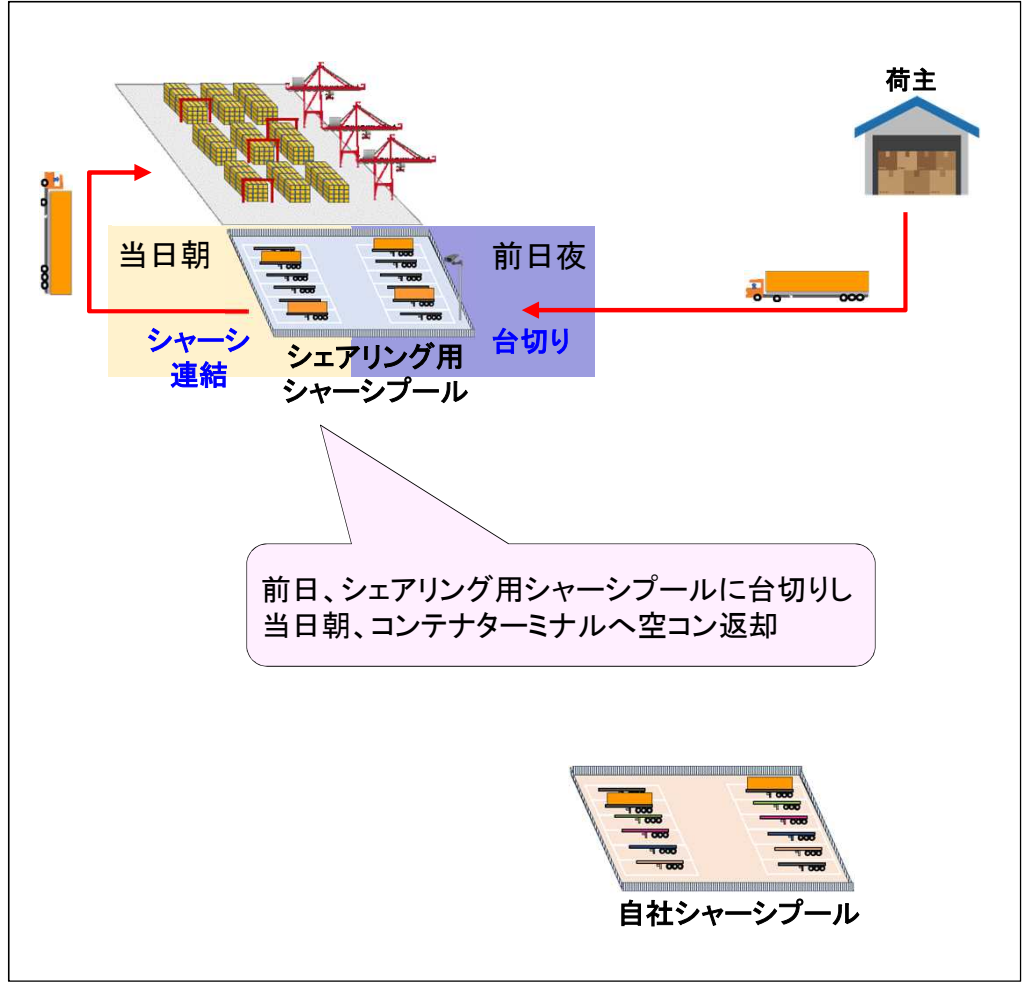
② シャーシプールの利用方法変更による配車効率の効果検証イメージ

オンシャーシ(空コン)駐車による配車効率向上イメージ (荷主へ配達後空コンを返却する場合)

【Before】オンシャーシ駐車不可(前回実験)



【After】オンシャーシ駐車(空コン)駐車可能(今回実験)



③ 位置情報の活用による配車効率の効果検証および利用上の課題の把握イメージ

- ・ 今回実験では、利用陸運事業者が予約システム上で利用中のシャーシの位置情報が把握可能として実施予定。
- ・ 利用陸運事業者の配車係がシャーシの位置情報を活用することにより配車業務の効率性向上の効果が期待できる。

項目	検証方法
位置情報の活用による配車効率の効果検証	○配車係へのアンケート(※日報記載)により、位置情報の利用状況や利用目的を把握。 ※日報に位置情報の利用の有無や理由を記載する欄を設け、活用事例を把握。
位置情報の利用上の課題の把握	○事後アンケートにより、位置情報を活用する上での課題を把握。

位置情報の活用による配車効率向上イメージ

① CONPAS予約業務への活用



② 配車業務への活用 (配車の組み替えの効率化)



③ 荷主問合せへの対応

